

復興・政権奪還誓う

松山 自民県連が定期大会



東日本大震災の復興支援へ、ガンバロー三唱した自民党県連の定期大会＝22日、ひめぎんホール

すべきだと注文した。

党員数は2万3666人(地域支部1万6105、職域支部7561)で、前年比約3300人減。県連は「数年来の急減に歯止めはなかったが、経済が厳しい中、獲得に全力を挙げる」と訴えた。

大会宣言では「中村県政の最大責任与党として深刻な経済雇用対策や地域活性化、インフラ整備などに取り組む」と採択した。

清家俊蔵幹事長の続投を含む執行部人事などを承認。4月の県議選西予市区で党公認候補の対立陣営を支援した池田忠幸元幹事長は顧問を外れた。

(西山秀和)

自民党県連は22日、松山市道後町2丁目のひめぎんホールで定期大会を開催。東日本大震災を受け、防災対策に全力を傾注し、次期衆院選で政権を奪還するなどと決議した。

党員ら約700人が参加し、中村時広知事も来賓出席。県連会長の村上誠一郎衆院議員(2区)は、収束しな

い福島第1原発事故を挙げ「菅内閣は財政と外交に加え、危機管理にも失敗した」と厳しく指摘。「早く民主党政権を代えて復興を進めることが自民の重要な使命」と述べた。

中村知事はあいさつで菅直人首相による浜岡原発の停止要請を受け、新たな耐震安全基準を与野党が早急に示